

観光における事後情報の生成と事前情報の共有を支援する 観光ポートフォリオ生成システムの開発

上田 智昭[‡] 大岡 稜[‡] 熊野 圭馬[†] 垂水 浩幸[†] 林 敏浩^{††} 八重樫 理人[†]
香川大学工学部[†] 香川大学大学院工学研究科[‡] 香川大学総合情報センター^{††}

1. はじめに

観光情報は、観光前の事前情報、現地での現地情報、観光後の事後情報の3つの情報に分類され、それぞれの段階に応じた内容と形態で適切な情報を発信していく必要がある[1][2]。日本観光協会の調査によると、観光客がもっとも重視する情報源は、同じ観光者の口コミ情報であることが明らかにされている[3]。観光客の口コミ情報は、投稿した観光客にとっては事後情報にあたり、これから観光をする観光客にとっては事前情報にあたる。

我々は、観光情報ライフサイクル(図1)を提案し、観光情報ライフサイクルに基づく観光支援システムを開発した[4]。観光情報ライフサイクルは、事前情報によって観光地へと誘われた観光客が、現地情報を得て事後情報を生成することによって、生成された事後情報が新たな観光客を観光地へと誘う事前情報となることを示す。観光情報ライフサイクルに基づく観光支援システムは、観光中に観光客が扱った現地情報を収集するシステムと収集された現地情報を用いて事後情報を生成し、事前情報として他の観光客との共有を支援するシステムから構成される。

本論文では、観光情報ライフサイクルに基づく観光支援システムにおいて、事後情報の生成と事前情報の共有を支援する観光ポートフォリオ生成システムについて述べる。

2. 観光ポートフォリオ生成システム

本研究では、観光において生成された様々な情報をまとめたものを観光ポートフォリオと定義する。観光ポートフォリオは、観光情報ライフサイクルにおける事後情報にあたる。観光ポートフォリオに蓄積する情報は、観光行動の内

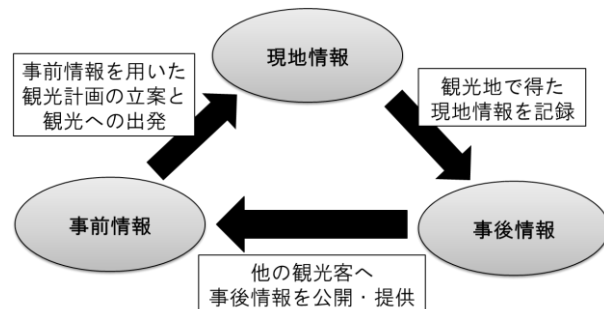


図1 観光情報ライフサイクル

表1 観光行動に関する情報の内容と収集方法

情報名	内容	収集方法
件名	観光候補地名 または観光行動名	観光計画から選択
コメント	感想等	手入力
日時	年, 月, 日, 時間	端末から取得
カテゴリ	観光計画名	観光計画から選択
タグ	観光行動の種類 (移動, 食事, 購買, 宿泊)	手入力
位置情報	緯度, 経度	端末から取得
メディアファイル	画像や動画の リンク	端末から取得

容や時間、位置情報、メディアファイルなどの観光行動に関する情報だけでなく、観光前に生成した観光計画も含む。

観光ポートフォリオは、観光計画と観光行動に関する情報から生成する。観光計画は、観光候補地とその観光予定時間からなる。表1は、観光行動に関する情報の内容とその収集方法を示している。

図2は、観光ポートフォリオ生成システムの概要を示している。観光ポートフォリオ生成システムは、事前情報の共有を支援する機能と事後情報の生成を支援する機能から構成されている。事前情報の共有を支援する機能は、観光客相互に観光ポートフォリオを共有するための観光ポートフォリオ表示機能と観光前の段階で

The Development of Tourist-Portfolio Creation System which Creates Post-information and Shares Pre-information

[†] Kagawa University Faculty of Engineering

[‡] Kagawa University Graduate School of Engineering

^{††} Kagawa University Information Technology Center

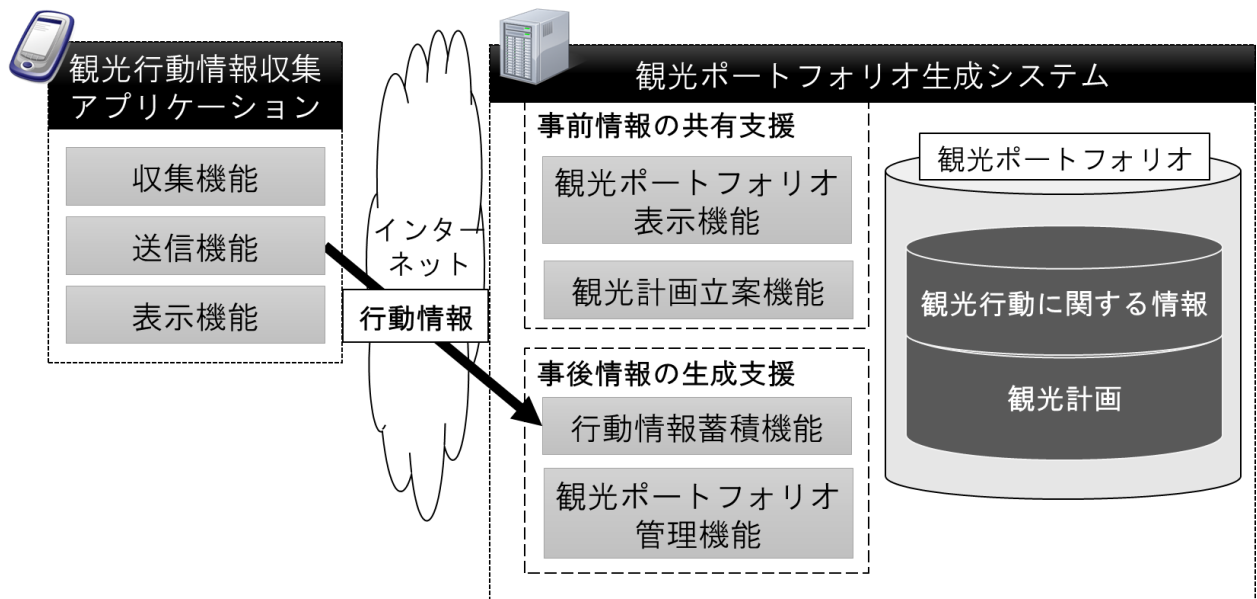


図2 観光ポートフォリオ生成システム機能概要図

他の観光客の観光計画を用いて観光計画の立案を行う観光計画立案機能である。事後情報の生成を支援する機能は、収集された観光行動に関する情報を観光ポートフォリオに蓄積する行動情報蓄積機能と自らの観光ポートフォリオの修正や共有可否などの設定を行う観光ポートフォリオ管理機能である。

観光ポートフォリオ生成システムは、ブログソフトウェアの WordPress を用いて実装する。観光前に、立案された観光計画の各項目から記事タイトルのみが設定されたブログ記事を生成しておき、観光中に収集された観光行動に関する情報を、対象のブログ記事に追記していく仕組みとした。また、ブログ記事ごとに設定できるカテゴリには観光計画名を、タグには観光行動の種類を指定することで、観光記録の検索が行える。観光ポートフォリオ生成システムの観光ポートフォリオ表示機能では、WordPress 上に観光ポートフォリオに蓄積された観光計画と観光行動に関する情報を表示する。観光計画立案機能では、WordPress の記事タイトル取得 API を用いて、既存の観光ポートフォリオからブログ記事タイトルを取得し、自身の WordPress サイト上に同名のブログ記事を生成する。行動情報蓄積機能では、WordPress の記事編集 API を用いて、観光前に生成された記事タイトルのみが設定されたブログ記事に、その内容を表現したテキストや写真の追記を行う。観光ポートフォリオ管理機能は、WordPress の記事管理機能を用いて、観光後の段階において、ブログ記事ごとの公開可否やタグなどの修正を行う。

3. おわりに

本論文では、観光における事後情報の生成と事前情報の共有を支援する観光ポートフォリオ生成システムについて述べた。観光情報ライフサイクルに基づき、観光の各段階において生成された情報を次の段階において利用する仕組みが実現できれば、継続的な情報の生成と蓄積が可能であると考えている。今後は、本システムの実験及び検証を行う。

参考文献

- [1] 市川尚, 阿部昭博, "観光周遊における IT 支援", 人工知能学会誌, vol.26, vol.3, pp240-pp247, 2011.
- [2] 安村克己, 野口洋平, 細野昌和, "観光事業論講義", くんぷる, 2005.
- [3] 日本観光協会, "観光の実態と志向 (第 27 回)", 日本観光協会, 2009.
- [4] Tomoaki Ueda, Ryoji Wakasa, Hiroyuki Tarumi, Toshihiro Hayashi and Rihito Yaegashi, "Development of the Application which Collects Tourist-Information and the System which Creates Tourist-Portfolio", Proceedings of the International Conference on Humanized Systems 2013 (ICHS2013), pp83-86, 2013.